



循環思考ワークショップガイドライン

デザイン・ビジネスモデル・サプライチェーン観点を統合する



循環経済つなぐラボ（サークルデザイン株式会社運営）



本ガイドライン使用にかかる留意事項

- 本ガイドラインは循環経済つなぐラボ（サークルデザイン株式会社運営）作成です。内容の正確性には注意を払っておりますが、本資料により生じた損失等に弊社は責任を負いかねます。
- 循環経済つなぐラボでは、本ワークショップメソッドをもとにしたワークショップの実施も可能です。詳しくは、お問い合わせください。
- 本内容をもとに自由にアレンジいただくことも可能です。
- 本ガイドラインをもとにワークショップを実施した皆さまからのフィードバックをお待ちしております。

- © 2025 サークルデザイン株式会社. All Rights Reserved.
- 本資料の無断転載・複製を禁じます。
- 本資料の内容の全部または一部を、許可なく使用・転載することを固く禁じます。
- Unauthorized copying, reproduction, or distribution of this presentation is strictly prohibited.

循環思考ワークショップ

循環思考へ移行する

サーキュラーエコノミーへ移行していくにあたって、
どのような考え方をもち 経路やビジネスをつくれるか、
ワークショップを通じて共に考えることを目的とします。

循環思考ワークショップ概要

3つのワークを行います。

1

採用すべき
サーキュラー
デザインを抽出

2

サーキュラー
ビジネスモデル
を考える

3

サプライチェーン
における戦略
を設定する

ワークショップに取り組むにあたって

一つの正解や答えは
ありません

「分からない」が
出発点

知識の有無より
知識のシェアを

自分の価値観が大事
だからこそ
相手の価値観も大事

知らないことは、
想像するか
一旦置いておく

今日の場にいる皆さんと同じ「意識」を
持ちたいと思います

1 採用すべきサーキュラーデザインを抽出する

循環型ビジネス構築を
イメージするための土台を創っていきます。

Action

「傘」を題材に
サーキュラーデザインを
イメージしていきましょう。



サーキュラーデザインを考えるときのツール：サーキュラーデザイン戦略例

製品



脱物質化



バイオ化



リサイクル材



未/低利用・
端材・廃材



中古材・
中古部品

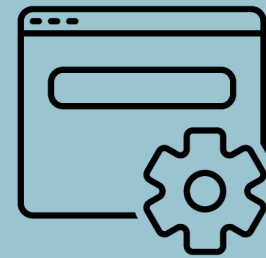
利用



高耐久性



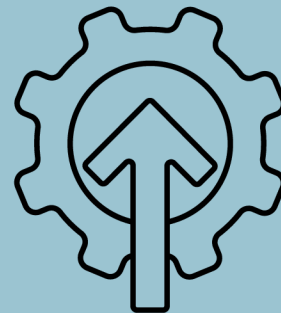
情緒的耐久性※



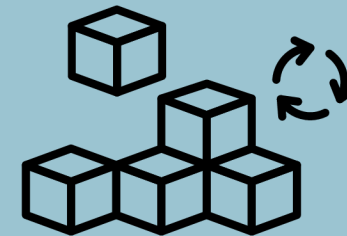
易メンテナンス性



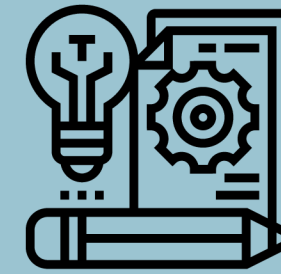
易修理性



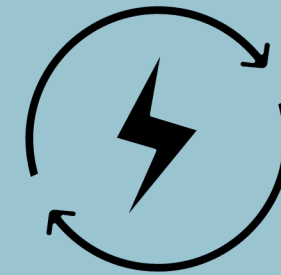
アップグレード性



モジュラー性



適応可能性

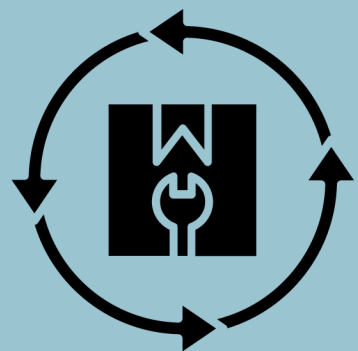


エネルギー等
効率性

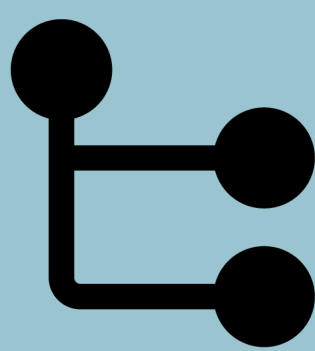


環境再生

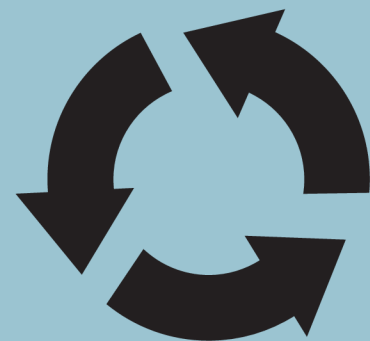
利用後



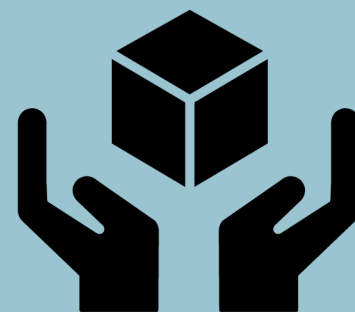
易リマン性



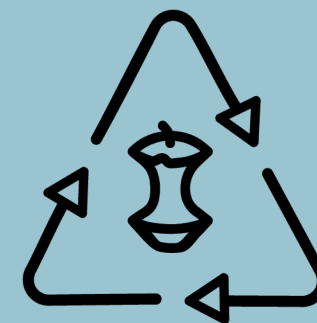
カスケード



易リサイクル性



標準化

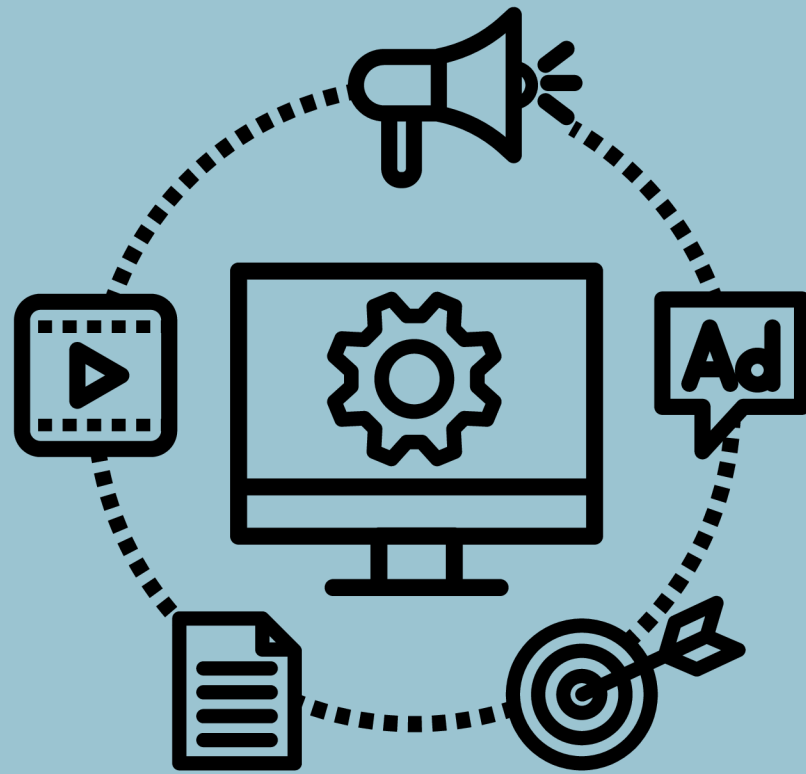


生分解性



トレーサビリティ

サンプル①「傘」：脱物質化戦略をとると



脱物質化

機能を担保しながら、
物質を利用しない方法はあるか？

- 雨が降っても傘を利用しない方法はあるか？
- 雨に濡れないという「機能」を担保したまま違う手段はないか？



- 身の回りのものが傘になる
(例：カバンが傘になる)
- 雨宿り×コワーキング

サンプル②「傘」高耐久性戦略をとると



高耐久性

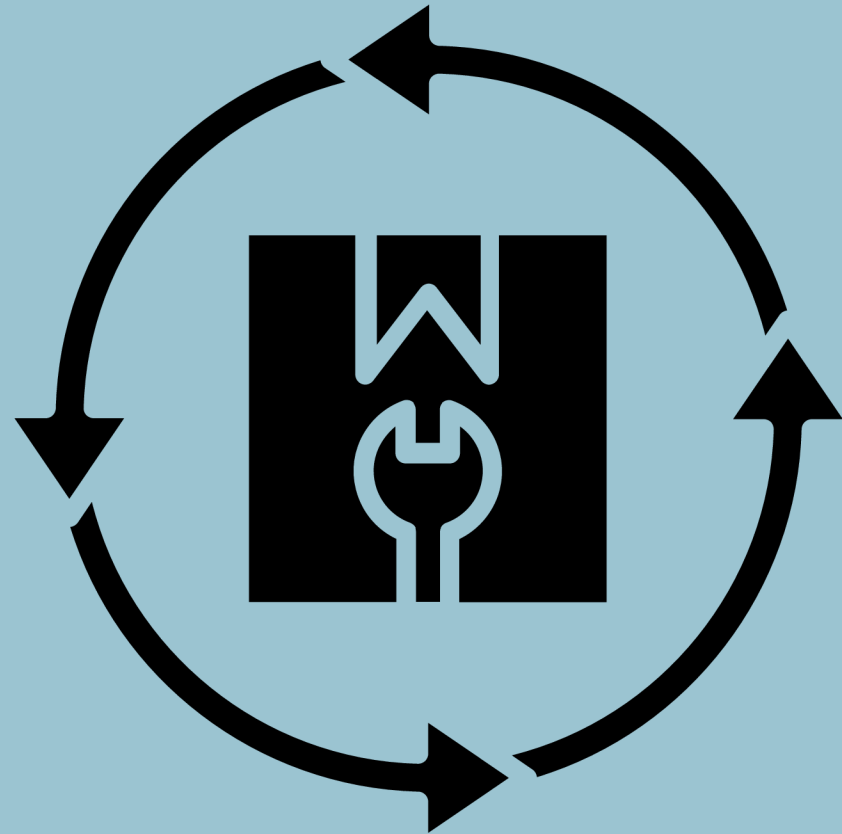
なるべく長く使えるための設計とは？
(化学的・物理的な影響に
いかに長く抵抗できるか？)

- 傘布（傘生地）の素材の耐久性は？
- 子どもから大人まで使えるような傘とは？



- 劣化しない素材を傘生地に使用する
- サイズを変えられる傘の開発

サンプル③「傘」を易リマンの観点を入れると...



易リマン

廃棄された製品の部品を新製品
に利用するなど
再製造しやすくなる設計とは？

- 安全性を担保した上で傘の部品を交換できる設計とは？
- 傘を廃棄した段階でまだ使える部品は残しておけるシステムとは？



- 誰でも取り外し可能な傘の部品と簡単にアクセスできる状況
- 傘が壊れた際に廃棄ではなく回収して部品を取り外せる回収拠点の設置

それでは早速サーキュラーデザイン（モノ）を実施してみましょう！

サーキュラーデザイン

問い

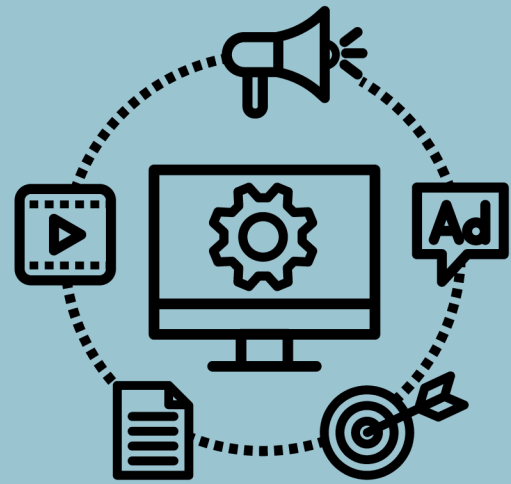
-
-
-



デザインアイデア

-
-
-

サーキュラーデザイン戦略例：製品



脱物質化

機能を担保しながら、
物質を利用しない



バイオ化

再生可能資源を
活用



リサイクル材

使用済み製品の原料な
どからリサイクルされ
た材料を活用



未/低利用・ 端材・廃材

使われていない
(その頻度が低い)
材料を活用



中古材・ 中古部品

使用済み製品のま
ま製品自体や材料
を使用する

サーキュラーデザイン戦略例：利用



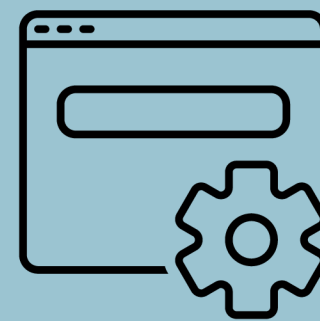
高耐久性

物質（プロダクト・モノ）が壊れずに長く使い続けられる設計



情緒的耐久性※

人とモノの関係を持続させる設計



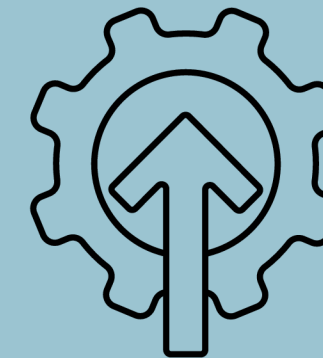
易メンテナンス性

メンテナンスしやすくする設計



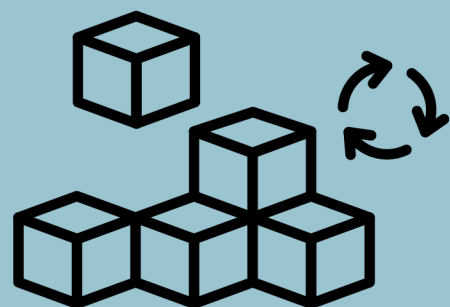
易修理性

修理しやすくする設計



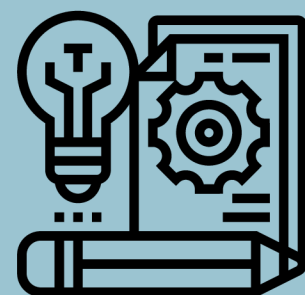
アップグレード性

アップグレードしやすくする設計



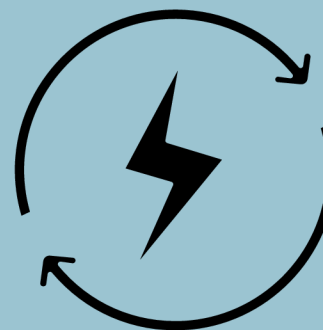
モジュラー性・標準化

モジュール単位で製品を設計し交換や修理しやすくする設計



適応可能性

外部環境の変化に応じて適応できるようにする設計



エネルギー等 効率性

エネルギー効率を追求する設計



環境再生

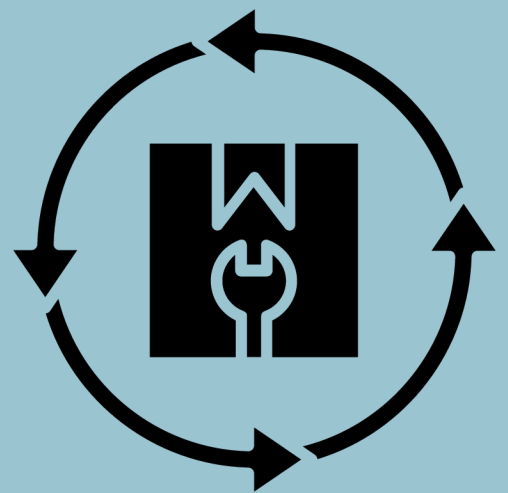
ユーザーや周辺生態系などとの関わりにより環境が再生されていくような設計



トレーサビリティ

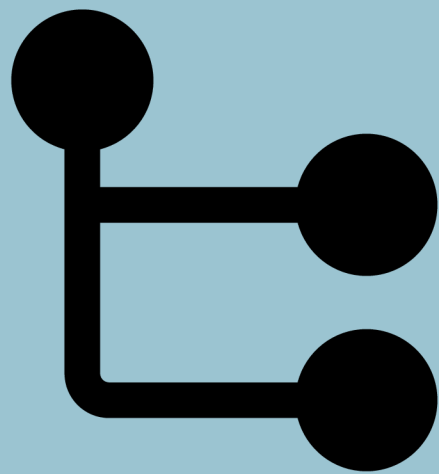
製品と情報を一致させるため、製品履歴を追跡できる設計

サーキュラーデザイン戦略例・製品使用後



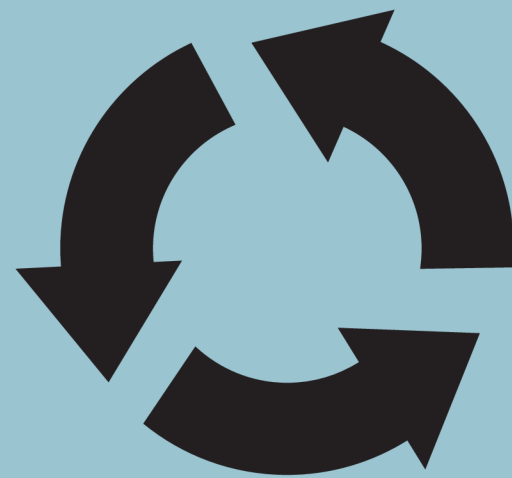
易リマン性

廃棄された製品の部品を
新製品に利用するなど
再製造しやすくなる設計



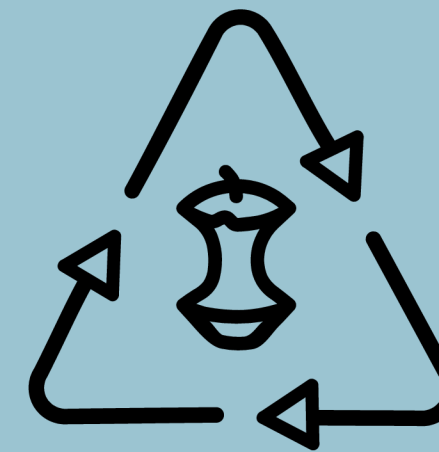
カスケード

リサイクルされ
やすい設計



易リサイクル性

元の製品や材料よりも
低価値のものにリサイ
クルされる設計



生分解性

微生物によって
分解される設計



トレーサビリティ

製品と情報を一致
させるため、製品
履歴を追跡

シェアの時間

各グループ内でシェアをお願いします。
ー 15 分

S h a r e

一つの正解・答え・絶対はありません。
皆さんが考えたことを
教えてください。

2 サークュラービジネスを考える

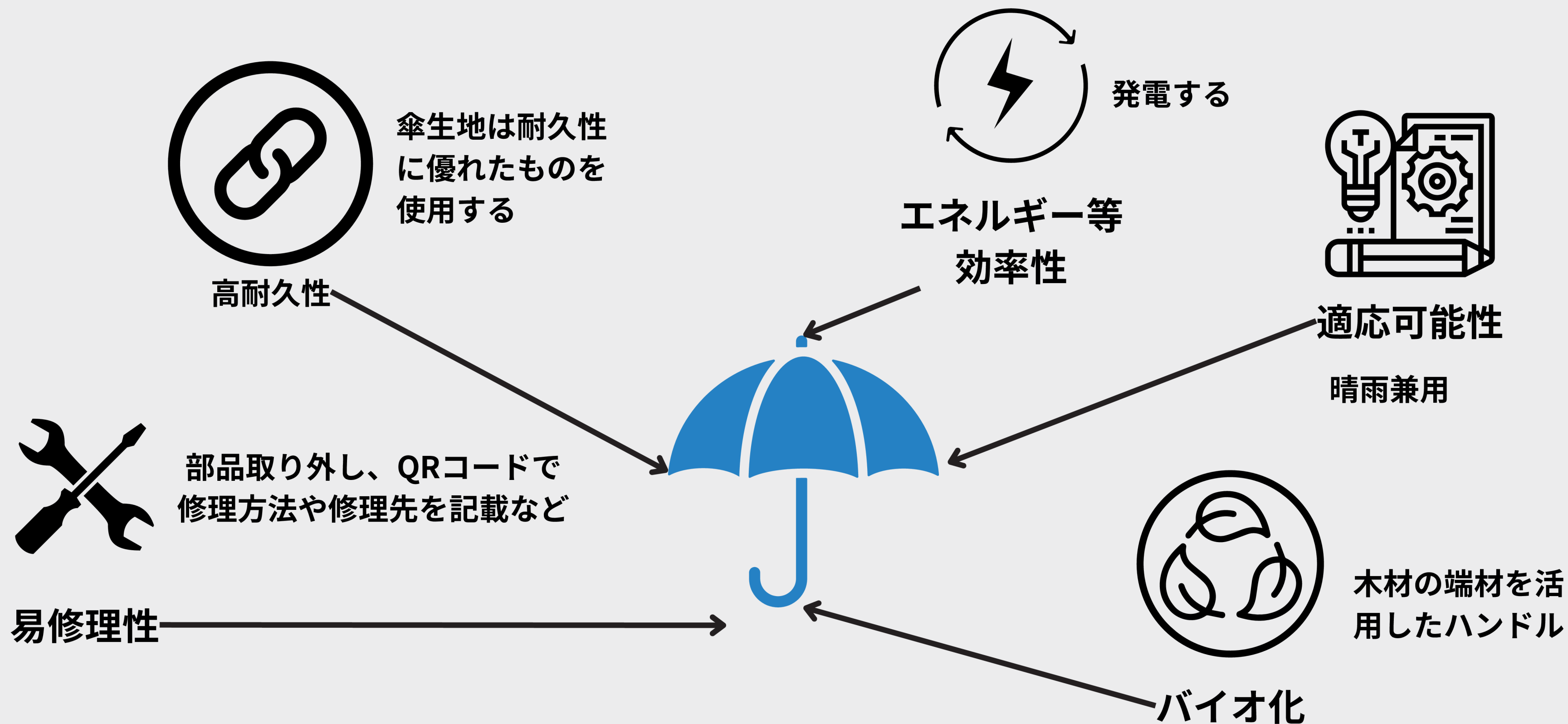
先ほどシェアしたサーキュラーデザインを組み合わせ
てサーキュラービジネスの設計へ進みます。

Action ①

ワークショップ①で話したグループ内の
サーキュラーデザインの中で、
組み合わせられるものを
考えてみましょう。



2 サークュラーデザインの組み合わせ・サンプル①



2 サークュラーデザインの組み合わせ



2 サーキュラービジネスを考える

組み合わせたサーキュラーデザインを
サーキュラービジネスとして展開していきます。

Action ② 考えたサーキュラーデザインを
サーキュラービジネスモデルに
当てはめていきましょう。





サーキュラービジネスモデル例

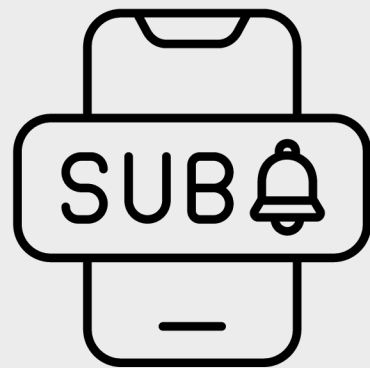
概要

価値創造	事業活動		リソース	パートナー	
	・			・	
	・			・	
	・			・	
	・			・	
価値	People（顧客）		Planet（地球環境）		
	・		・		
	・		・		
	・		・		
	・		・		
価値獲得	コスト		売上・利益		
	・		・		
	・		・		
	・		・		
	・		・		
価値提供	顧客との関係／チャンネル		顧客セグメント		
	・		・		
	・		・		
	・		・		
	・		・		

代表的なサーキュラービジネスモデル

下記は代表的なサーキュラービジネスモデルを提示しており、ほかにも様々なモデルが存在します。

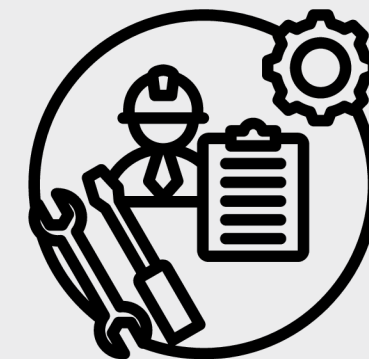
PaaS（製品のサービス化）



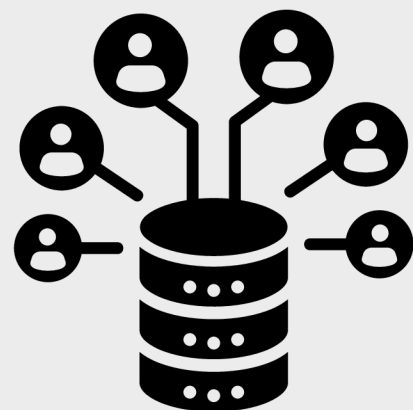
シェアリング



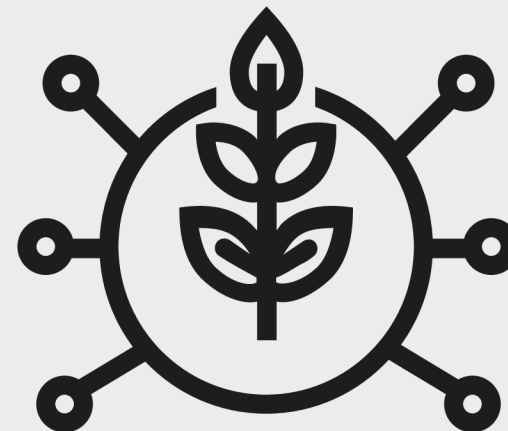
長寿命化と製品LC管理



回収と再販



廃材・端材・未・ 低利用資源活用（主にバイオ）



イネーブラー



例：PaaS (製品のサービス化)

利用者（顧客）が製品を所有せず、提供側が所有権を保持したまま顧客のニーズに応えるサービスを提供する。提供側は、顧客の利用方法や製品の状態などを随時把握しながら、メンテナンスやより上位の機能を提供することができ、製品の長寿命化が提供側にとっての利益につながるモデル

価値創造

事業活動

- 投資家・銀行等からの融資
- サービスとして提供する製品（資産）の調達
- 顧客へのサービス・付加価値提供
- 顧客管理
- 製品（資産）管理（メンテ・修理・洗浄など）

リソース

- 製品
- 顧客システム
- コミュニティ
- 製品管理システム

パートナー

- ブランド・メーカー
- 倉庫
- システム提供
- 物流・洗浄・修理・メンテ業者

価値

People（顧客）

- 所有せずに利用できる/いつでも解約可能
- 利用者の状況に応じてアクセス可能
- 高額商品へのアクセス可能
- データに基づいたサービスなど、購入よりも付加価値を得られる

Planet（地球環境）

- 長寿命化による新品製造減少
 - 稼働率向上による新品製造減少
 - 回収率向上による再資源化
- ※バックファイア効果は次ページ記載

価値獲得

コスト

- 製品購入
- 在庫管理（未稼働）
- 提供時（物流）
- 回収時（物流・洗浄・メンテ・修理等）

売上・利益

- 利用料
- その他広告料や手数料
- クロスセル・アップセル
- ブランドと利益シェア
- データ販売やコンサルティング
- 新サービス構築

価値提供

顧客との関係／チャンネル

- 製品や機能をサービスとして提供
- 通常マーケティング／口コミ／SNSなど
- 利用時における情報提供

顧客セグメント

- 利用状況に変化が生じる顧客
- 高価格製品へのアクセス意欲のある顧客
- To B、業務用製品で、キャッシュ・フローを安定させたい企業

3 循環視点をもつ

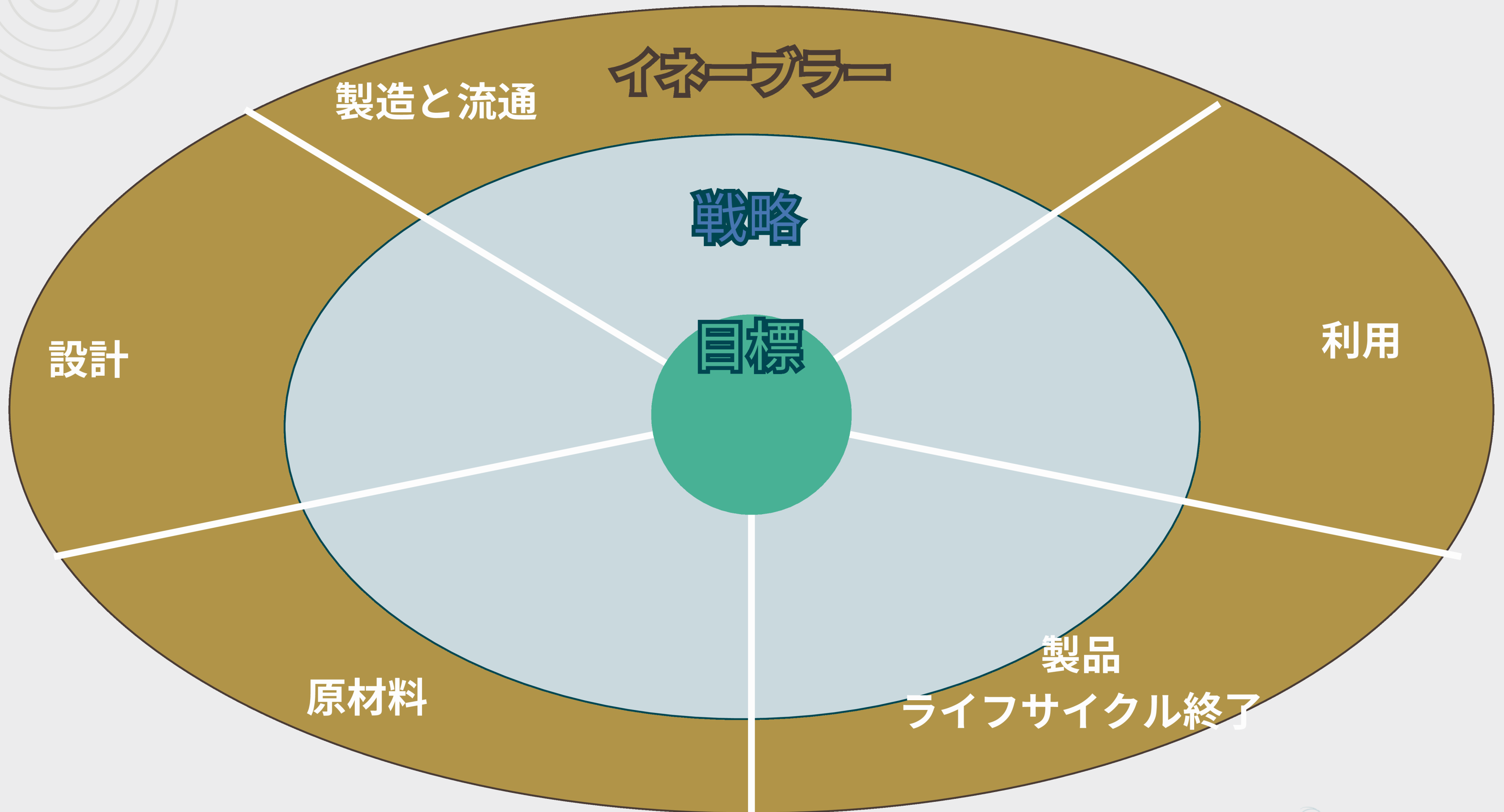
循環型ビジネスモデルを
循環視点（循環性の視点）をもって
サプライチェーンを見ていきます。

Action

サーキュラービジネスモデルから
循環型サプライチェーンマップに当て
はめていきましょう。

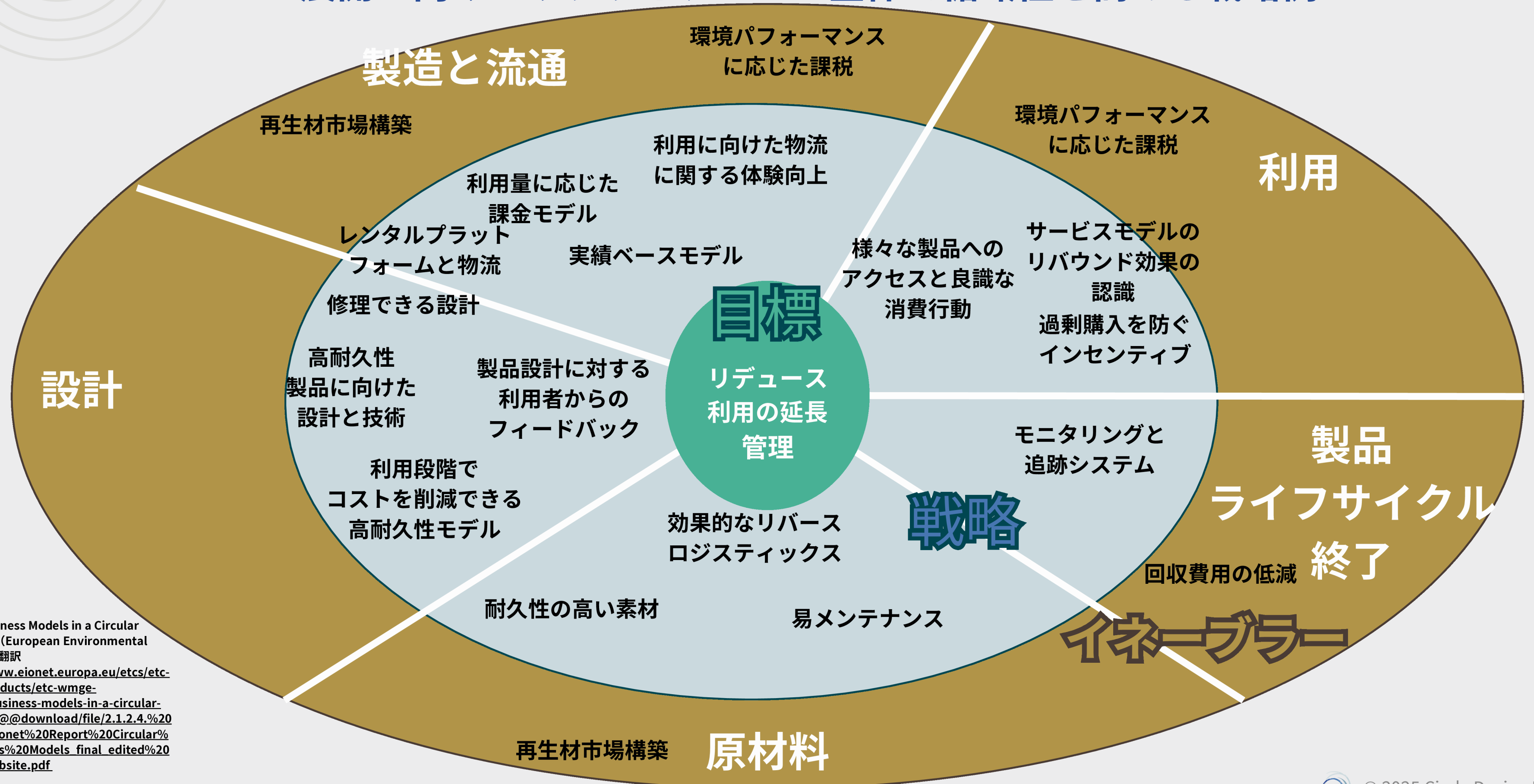


循環型サプライチェーンマップ



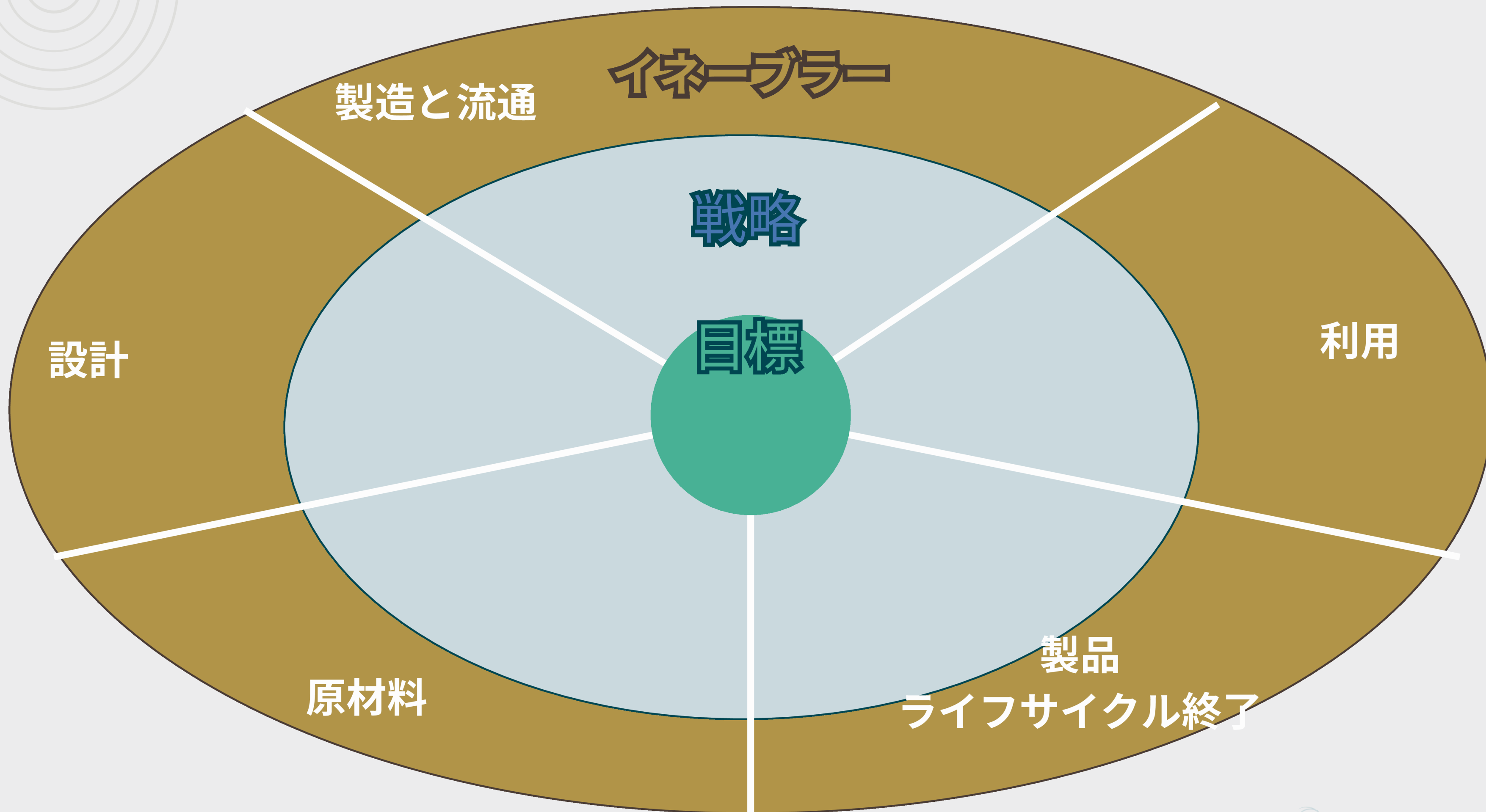
循環型サプライチェーンマップ

PaaS展開に向けてサプライチェーン全体で循環性を高める戦略例



出典：Business Models in a Circular Economy (European Environmental Agency)を翻訳
https://www.eionet.europa.eu/etcs/etc-wmge/products/etc-wmge-reports/business-models-in-a-circular-economy/@@download/file/2.1.2.4.%20ETC%20Eionet%20Report%20Circular%20Business%20Models_final_edited%20for%20website.pdf

循環型サプライチェーンマップ



シェアの時間へ

各グループごと3つのシェアをお願いします。

S h a r e

- ・サーキュラーデザインの組み合わせ
- ・サーキュラービジネスモデル
- ・サーキュラーサプライチェーンマップ

各グループ3分にてお願いします。

循環思考ワークショップで伝えたいこと

1

サーキュラー
デザイン・ビジネスの
イメージを広げる

2

顧客・自社・環境に
とっての価値を考える

3

サプライチェーン
全体を考える

次のステップまたは考えるべきこと

1

社会におけるデザイン

2

循環性を確認する

3

カーボンニュートラルや
ネイチャーポジティブと
の接点

皆 様 へ

最 後 に お 一 人 ず つ チ ェ ッ ク ア ウ ト

S h a r e

お 一 人 ひ と こ と ・ 1 分 ほ ど で
お 願 い し ま す 。

皆 様 へ

本 日 は ご 参 加 い た だ き
あ り が と う ご ざ い ま し た 。

